

茶之湯指南抄

三

79
625
3





門 79
藏 625
卷 3

茶湯指南抄卷二目錄

菓子此習ナシヒ

以糖子菓子ナツメ此習ナシヒ茶碗チャハシ為茶ウスチャ菓子ナツメ此習ナシヒ

以糖子菓子ナツメ中次ナカジ茶碗チャハシ為茶ウスチャ菓子ナツメ此習ナシヒ

以糖子菓子ナツメ踏フミ子コ大オホ海ウミ此習ナシヒ茶碗チャハシ

以糖子菓子ナツメ為茶ウスチャ菓子ナツメ此習ナシヒ

以糖子菓子ナツメ出デ炉ロ為茶ウスチャ菓子ナツメ此習ナシヒ

以糖子菓子ナツメ出デ炉ロ為茶ウスチャ菓子ナツメ此習ナシヒ

以糖子菓子ナツメ角カク炉ロ為茶ウスチャ菓子ナツメ此習ナシヒ

以糖子菓子ナツメ出デ炉ロ為茶ウスチャ菓子ナツメ此習ナシヒ

茶湯

- 一 五寸半 送猪子 角折 為茶 行 室 子 あり
 一 五寸半 吹猪子 角折 為茶 行 室 子 あり
 一 五寸半 送猪子 角折 為茶 行 室 子 あり
 一 五寸半 送猪子 角折 為茶 行 室 子 あり
 大要 八ヶ条

茶湯指南抄巻二之上

茶湯指南抄巻二之上

基子此習

- 一 基子 必大寺院の縁がより 諸山此寺院めく 縁がより
 一 何色の客少く 先為茶を 故か月通 庄へ
 一 基子此向 巾のいそと 基子屏風を たいへー 面にて
 一 何れを 給をかき べー 色紙 冊尺と なる 巾を
 一 きりふ 又 給此心を 能書り 打付 巾よ 加する 巾を
 一 是を 表表めく 巾の 凡を 加かき べー
 一 柄抄 立巾 大筋と 指巾 八古此法めく する 巾あり
 一 是も 子細く 貴人 高位の あり 時 大筋と 指巾

蓋子ハ水沸カリ比杯の縁より水垂由入炭を
たせ垂友大氣強ク然も茶此敷となつ時ハ
湯さめたる由へあを立も少間法由へ扱抄立よ
たる長大筋めく大どかきさぐ湯をたぎらせく
點る由へおそよせ大筋をゆへ垂也又大代急る所
用ある事とさ由へ

一 為茶碗と計りて之を重子垂べー又さきさる
茶碗とさきとあ細りして脇め計りて重子垂半
と何里又茶蓋をさきと計りて有べーさき人位めハ必
ずおすもつすべー茶を點る時ハ先茶をれお

給仕人此おめ垂落茶とにしく其上よ垂給仕の人
とそまにあちゆり持来り上るも人筆碗をれお
脇へ垂茶と垂べー中人茶よりか茶蓋のとさき
さ加をさき故り此さぐ此よ垂べー

古風の習り蓋子此さるら巾と筋達たる
様よるる事何る様も此茶と是も兼日此おめあ
さきと又蓋子此天上よ何の折を又計りて折か
いて此方よ素折く是と一つ此習ある

一 蓋子此凡杯にお此方よ垂事し又持子の方よ垂
事しといきえ加は物扱寄治事し

一 菓子此項送と定るハカ付の方水籠と垂とんツ
洋此定何る

一 菓子よ字ハ極ハ古法ゆ極る事し及菓子
子とて菓子極めく上下は形と付たるも是

色素極點極めりる事あり併凡炉を水指
此大なるハ及菓子ハ茶めり子細ハ茶中ハ極る

由凡炉水指と茶中ハ垂故中此極はけりゆら
りらハ水指の耳と凡炉は耳を極より外ハあて

不若故めりひる
一 菓子何るは點極めりる事あり又

凡炉茶水指ホを小ある事あり

一 たび菓子とて下とて投極中て凡炉茶中ハ天
とあくお一方ハつけ後腸ハ茶と縁何る水指此

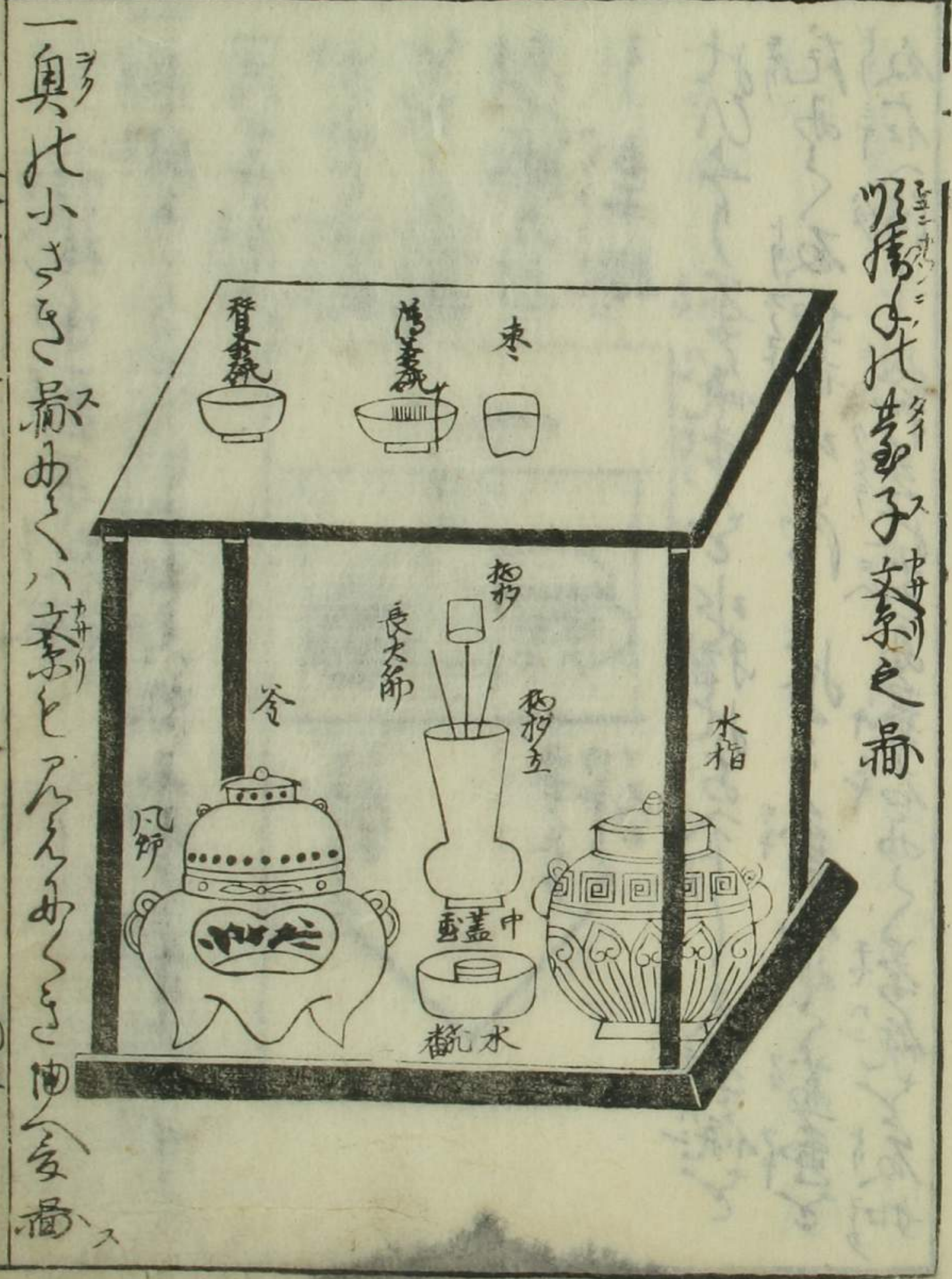
父と小体茶此とて下めハ袋を付る事あり
内エ水籠を入中此後水指を垂上めハ茶碗茶を

茶中とて又ひや茶と垂とて垂とて下茶茶碗
茶中とて何れ茶時ハ水籠ハ極より極る事あり

おめりる事あり

凡菓子ハ濃茶茶茶とも茶此茶碗茶故

一 奥此小... 流傳集... 常此... 大節羽... 方台上... せ此ある... 時何時... 入るこ... やく湯... 一 土... ま... 灰...



一 奥此小... 茶室... 茶室...

一 帛懸りたるを
ツリ掛りたるを
ツリ掛りたるを
ツリ掛りたるを

一 帛懸りたるを
ツリ掛りたるを
ツリ掛りたるを
ツリ掛りたるを

一 尺寸たれ

と下り如扇

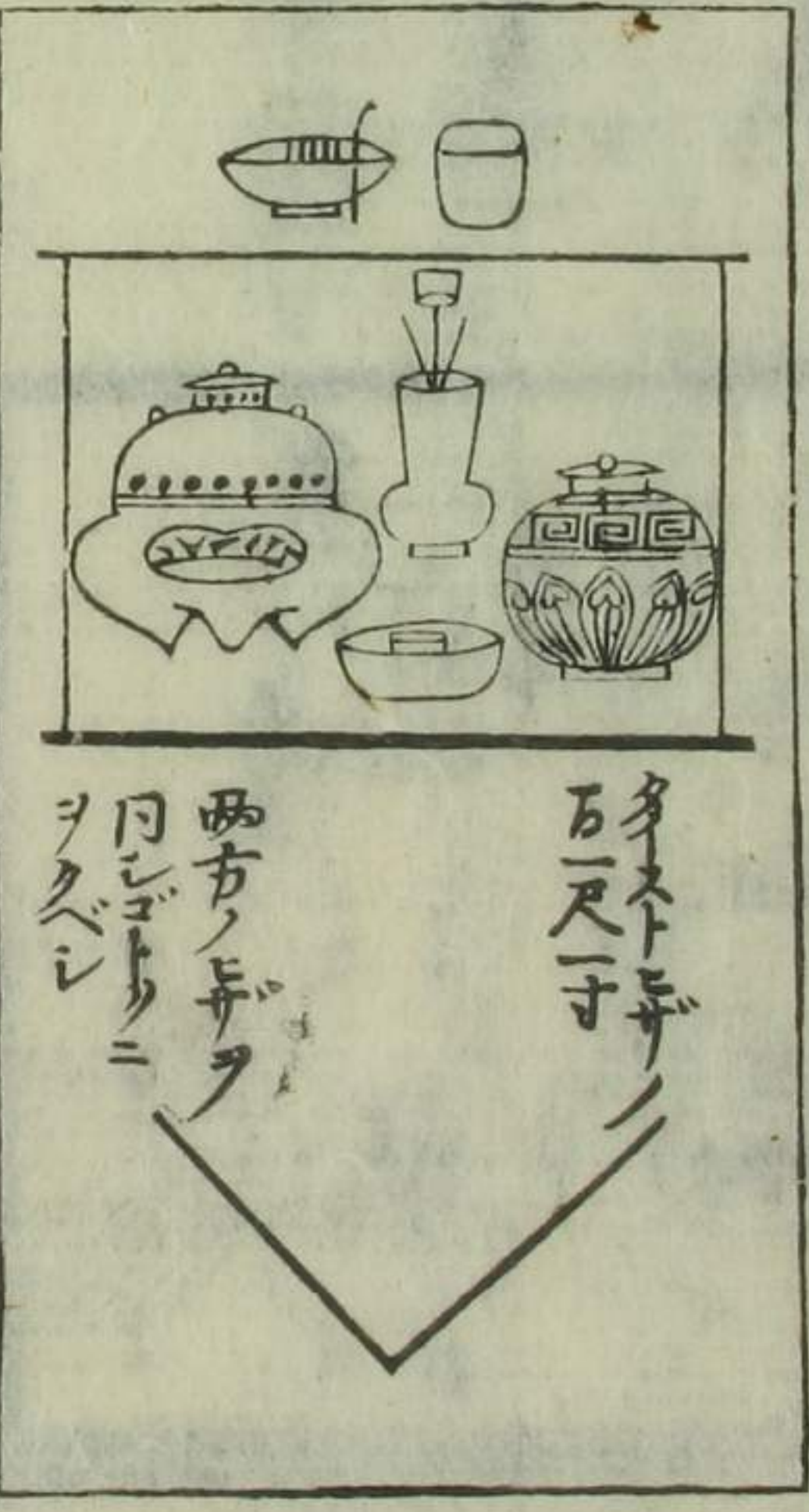
たれ膝の上

り垂手懸

此びより茶碗

たれく反如扇

反右(後)



一 尺寸たれ
と下り如扇
たれ膝の上
り垂手懸
此びより茶碗
たれく反如扇
反右(後)

一 帛懸りたるを
ツリ掛りたるを
ツリ掛りたるを
ツリ掛りたるを

一 尺寸たれ

と下り如扇

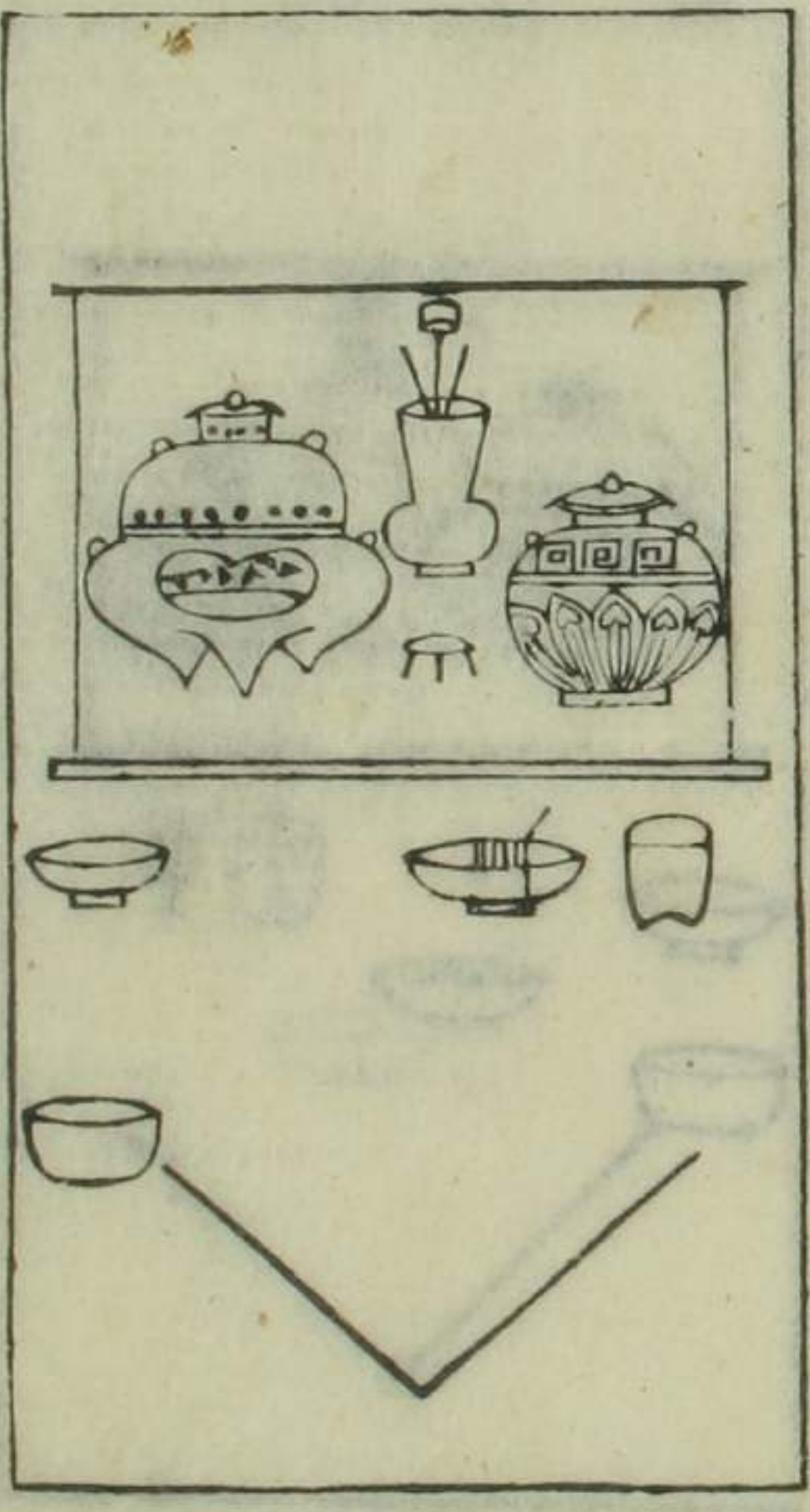
たれ膝の上

り垂手懸

此びより茶碗

たれく反如扇

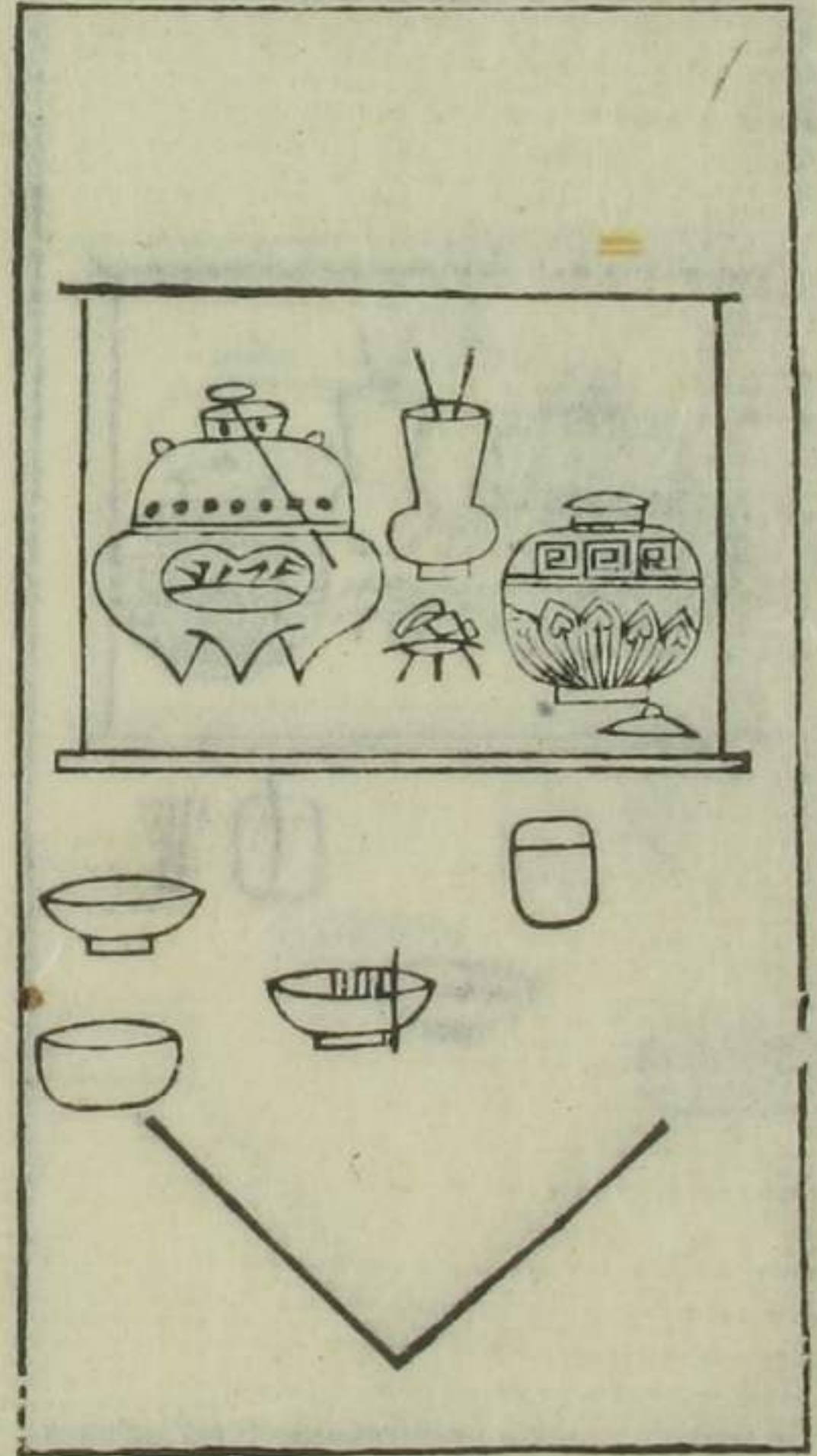
反右(後)



一 尺寸たれ
と下り如扇
たれ膝の上
り垂手懸
此びより茶碗
たれく反如扇
反右(後)

茶を飲むに又お茶を飲むに茶碗飯るといひて又湯を
入取上すく茶巾巾の中ひ下ゆ茶茶物茶及茶を入又
湯入水とじめ

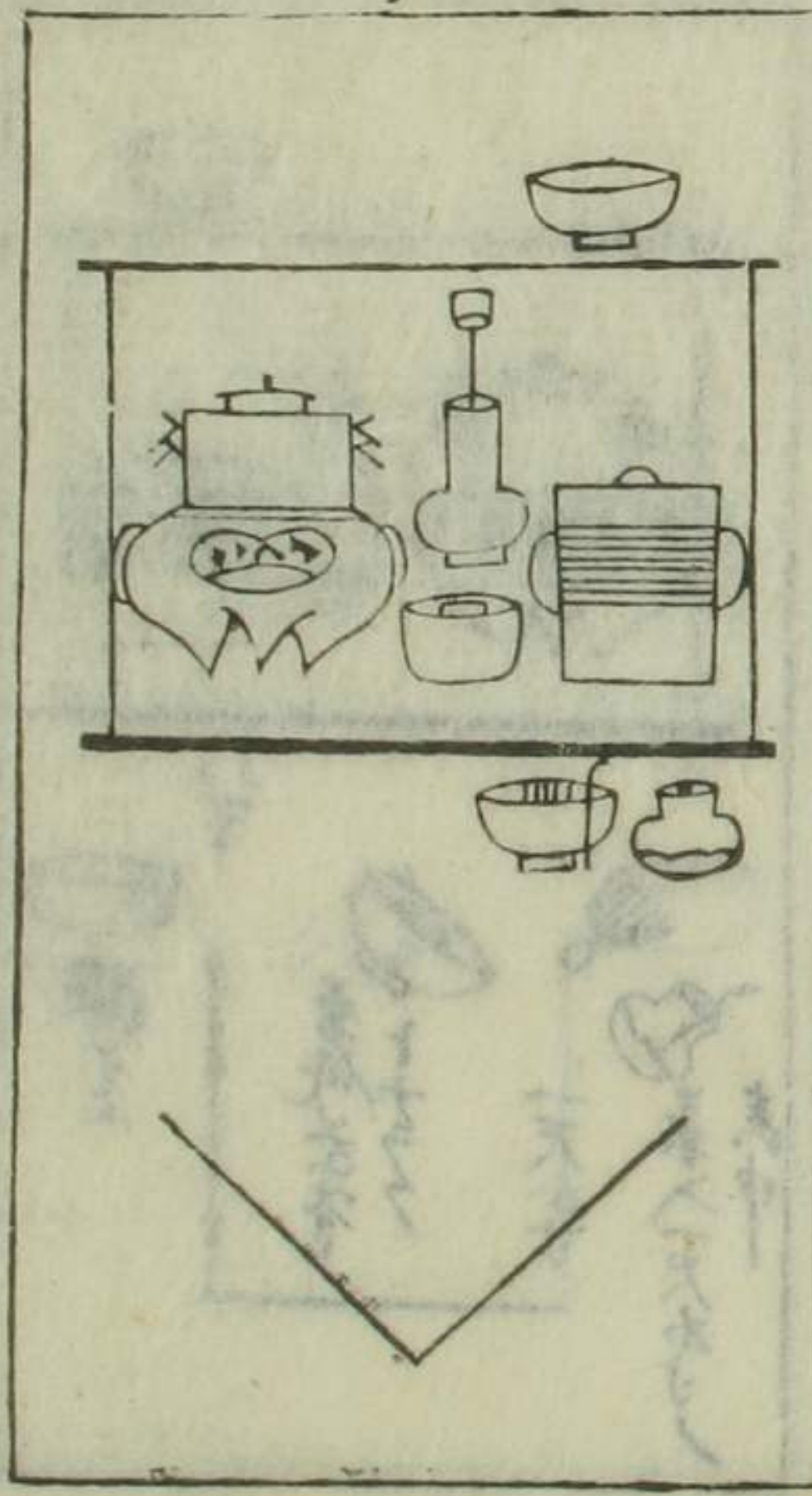
茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を
茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を



お茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を
茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を

茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を
茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を

お茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を
茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を



お茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を
茶を飲むに又お茶を飲むに
湯はくお茶を

波茶碗より入る巾着湯を控中の茶を入湯の水むら茶を
 取柄をかきつくたむとひたし〜活ら茶碗すき又

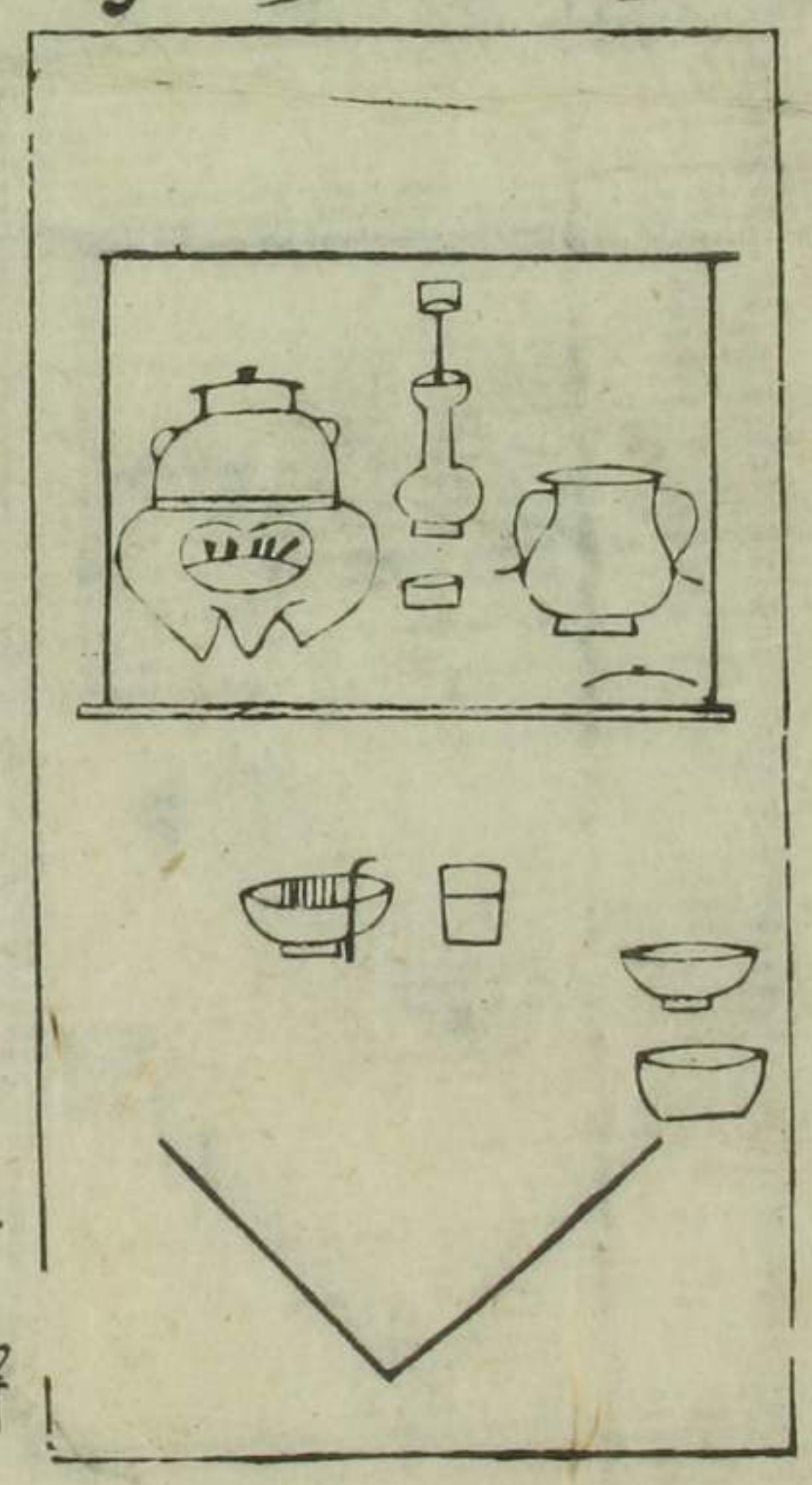
水籠のとりまき

乃その茶碗

まきと流り

水指れ蓋

水と茶



茶碗取天と取柄をさへエ又茶碗のての上中活ら茶
 らに活ら水指れ取柄へ立ち又持出さるる〜凡活ら
 き〜造〜水籠ひきまきのあは茶〜

一専半の茶碗生杯其れ茶碗のあ

一水指れ蓋せん其生〜の六茶三をゆて水籠蓋

物扱へたれひ小指おひごりとりとゆ茶のひゆひ

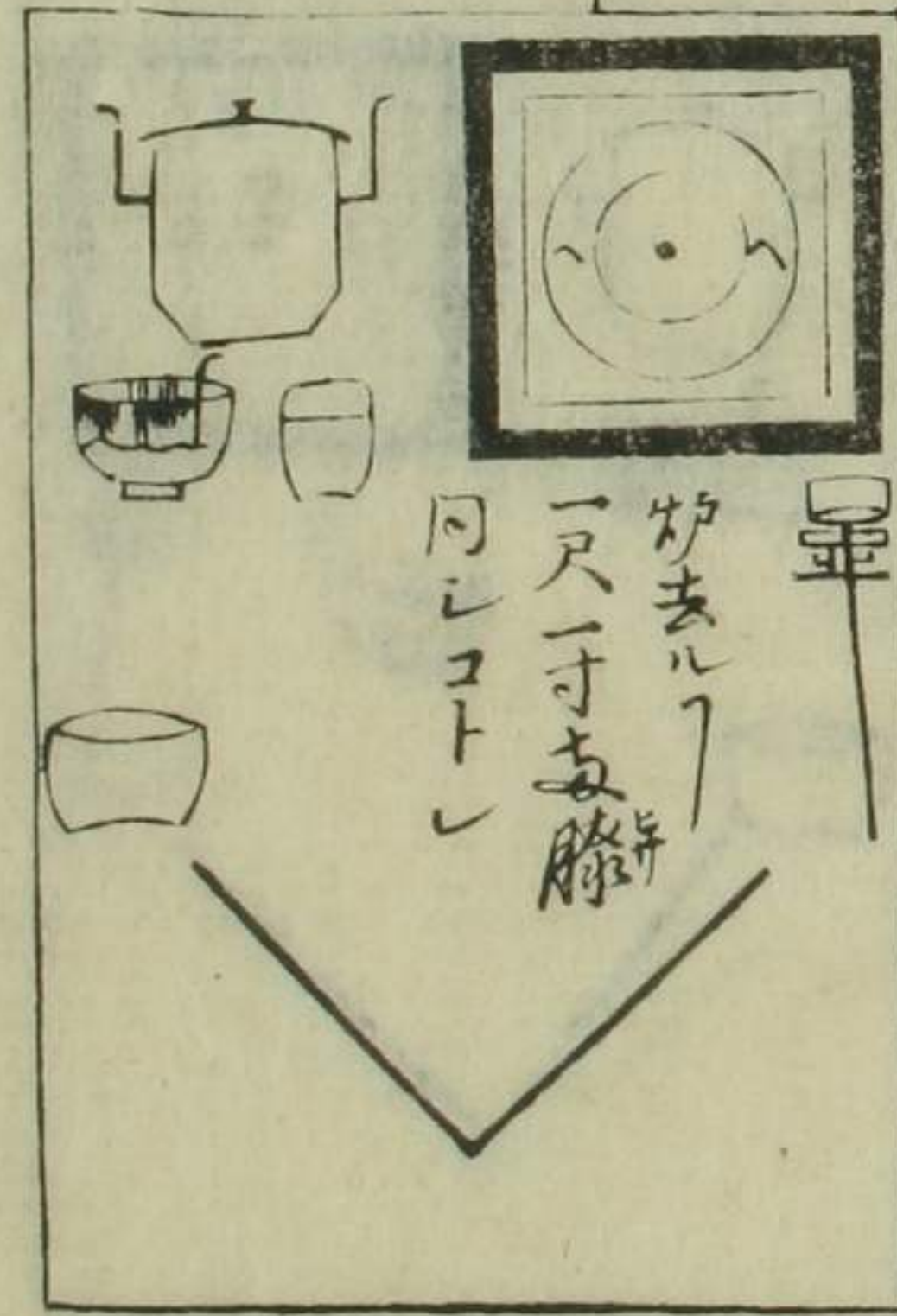
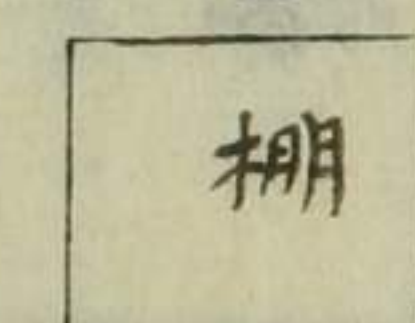
取右めく蓋

取半一茶碗

のへまが六部メのけ向

ハ茶此蓋と取て

の茶籠ひひらさる



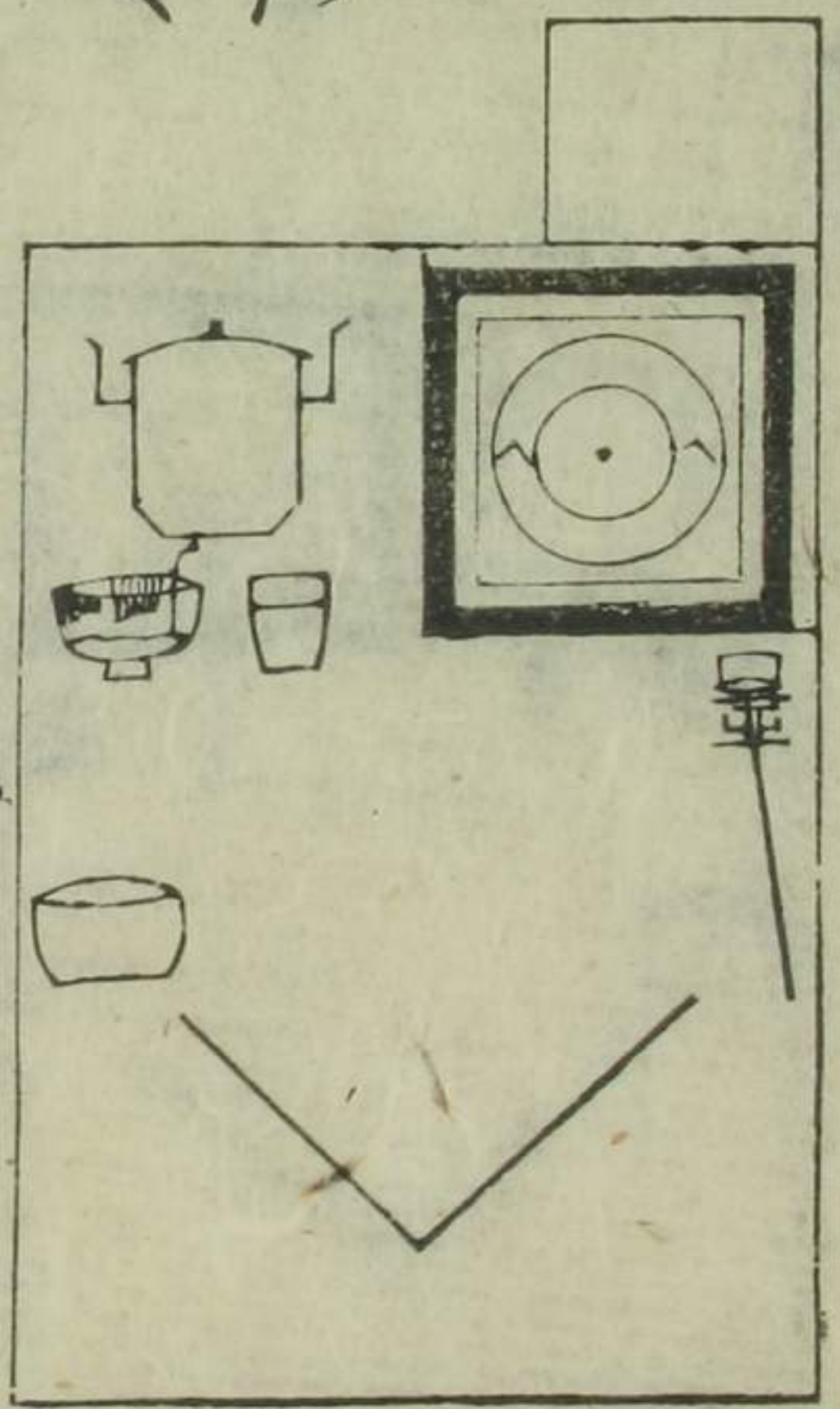
茶籠へ〜ひやを〜つる物名とへまが六部メのけ

い茶碗とする茶碗取めく茶碗取茶籠の茶中

茶碗取茶籠の茶中

と習とする又まのけわういうの物に
 終を能はるる湯を茶碗に入申うとゆへ
 知る時ハゆへ

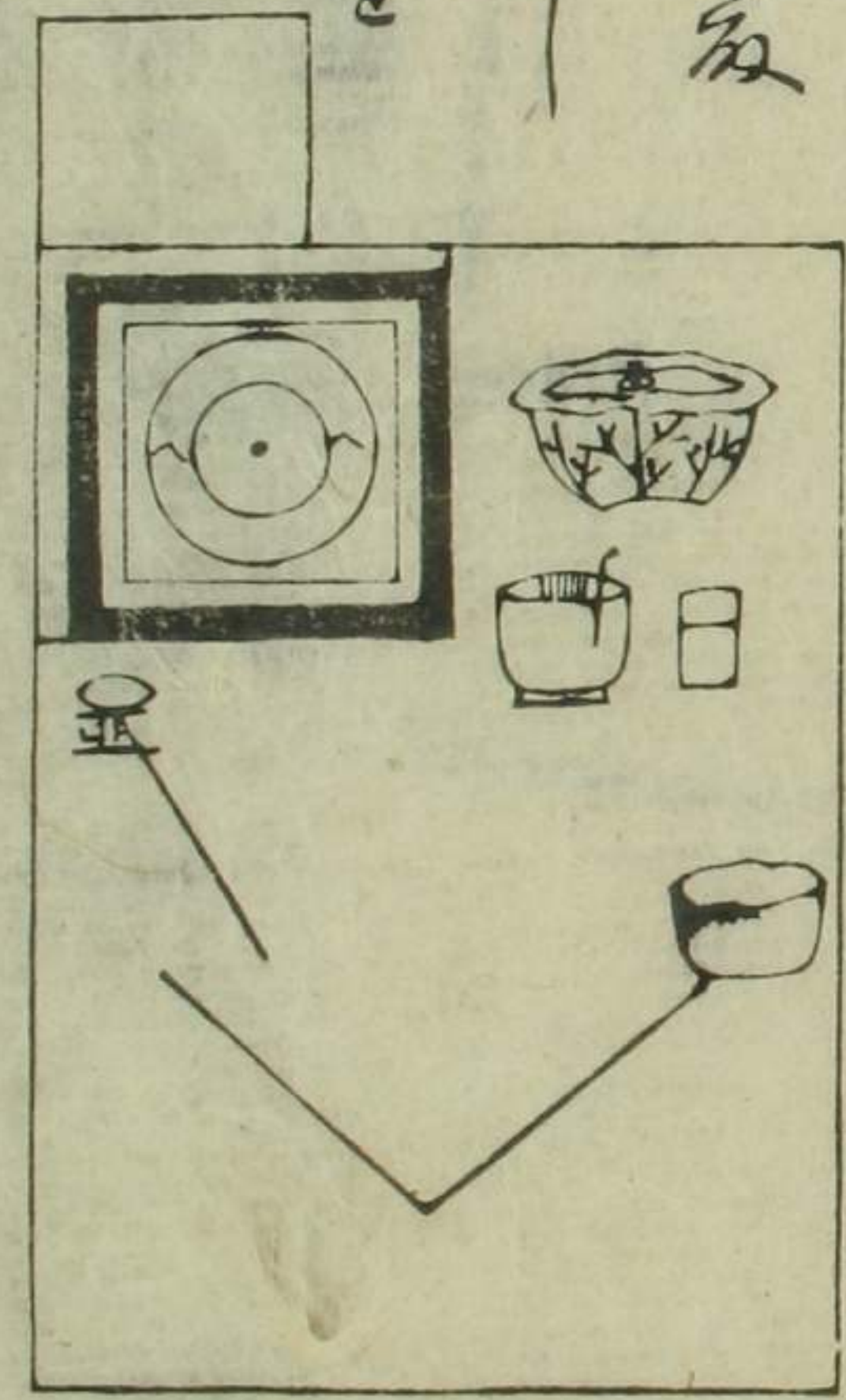
さあゆへを
 又點下ゆへ
 べしゆへ



たる茶ハゆへに茶碗のまじり
 とゆへ細くゆへに茶碗のまじり
 茶碗がゆへに茶碗のまじり

一茶半運持子出炉去れ茶碗のま

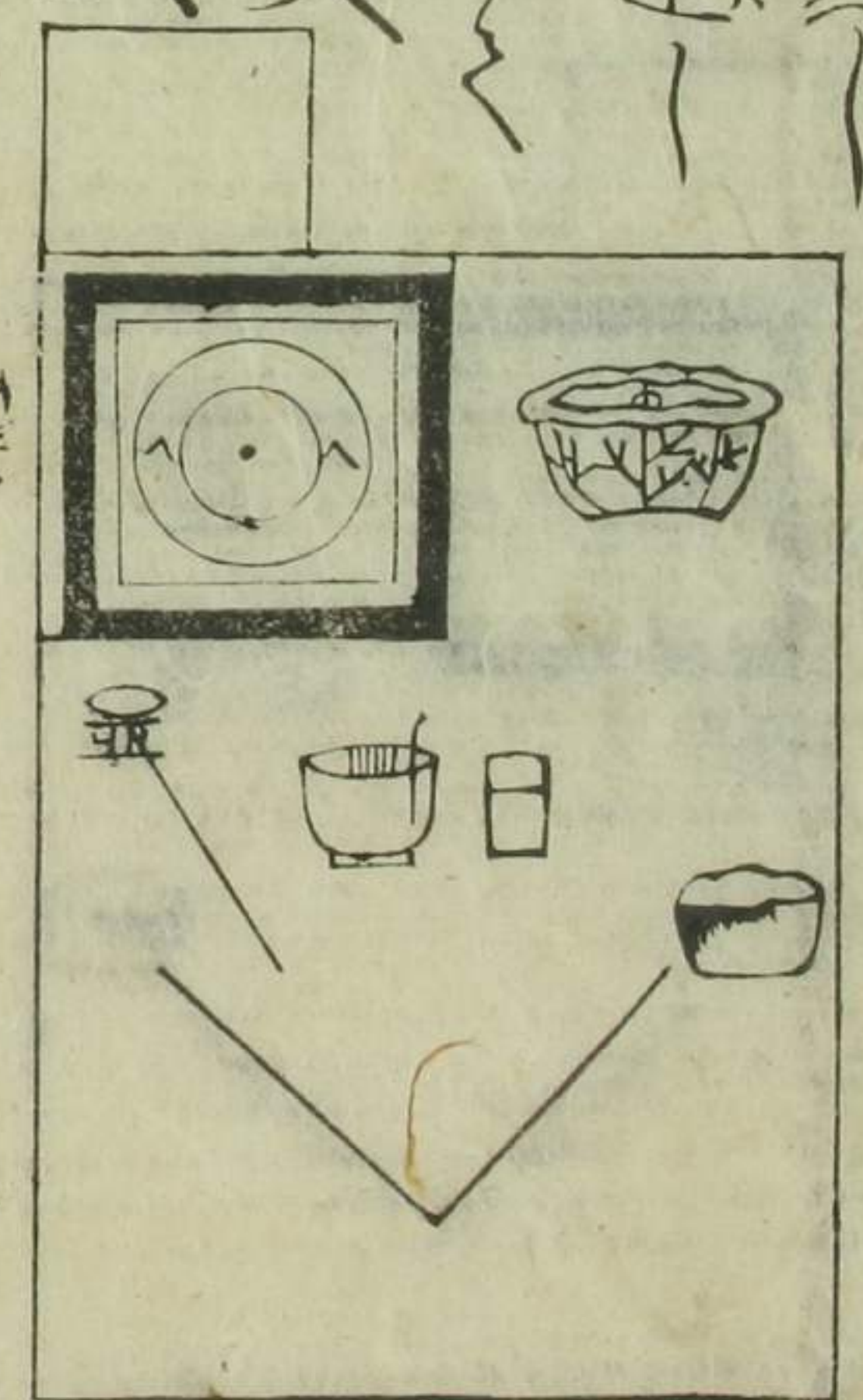
一水指運持葉る中次水瓶
 持者のみよゆへに運持する
 其のまじりゆへ
 左ゆへ運持葉る
 湯のまじりゆへ
 茶碗のけわう
 の蓋ゆへ



らゆへ行ゆゆ物ゆ加高おきゆ
 茶碗中次ゆおきゆ茶碗中次ゆ

一研め茶碗解ると湯を入すぎ扱又湯を入水一といひ
す合は茶碗半合の茶を入茶を夜さつとぬるべし
湯治とさつ打べし

茶碗の中へ
茶碗の湯を
茶碗の中へ



茶碗の中へ
茶碗の湯を
茶碗の中へ
茶碗の中へ
茶碗の湯を
茶碗の中へ
茶碗の湯を
茶碗の中へ

